

# 第5次堺市地域福祉計画策定に向けた 調査報告書（素案）の概要

# 調査概要



目的：次期堺市地域福祉計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的として実施

- 調査方法 郵送により配付し、郵送及びWEBにて回収。
- 調査対象 ①市民調査 3,000件：18歳以上の市民から無作為に抽出（令和6年8月末時点）  
②団体・機関調査 800件
- 調査期間 ①市民調査：令和6（2024）年11月13日（発送）～12月17日  
②団体・機関調査：令和6（2024）年11月22日（発送）～12月24日
- 回収状況

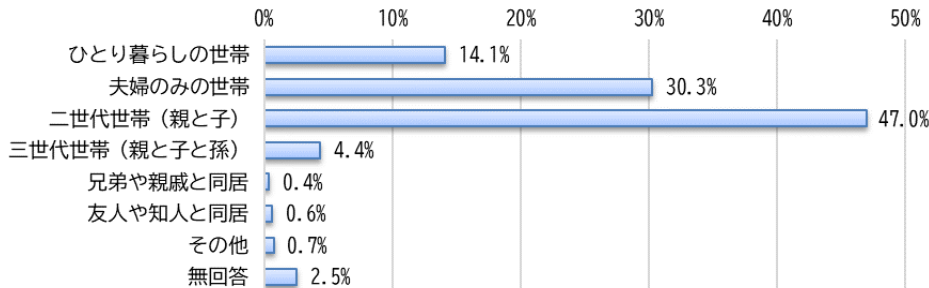
	有効発送数	郵送回答	WEB 回答	回答数合計	回収率
①市民調査	2,977 件	979 件（72.4%）	374 件（27.6%）	1,353 件	45.4%
②団体・機関調査	796 件	326 件（68.5%）	150 件（31.5%）	476 件	59.8%

## ● 年齢層別の回答状況（市民調査）

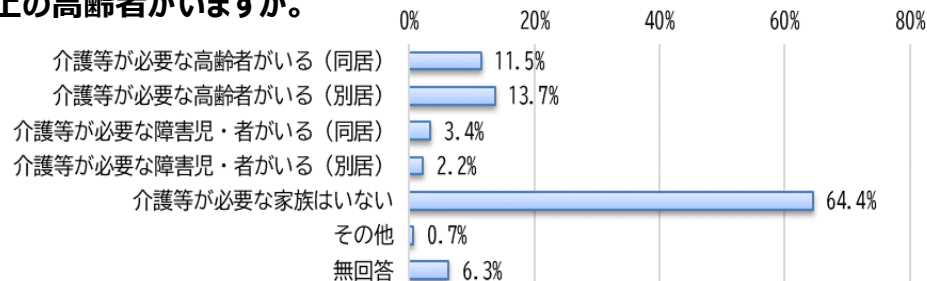
年齢層	有効発送数	郵送回答	WEB 回答	回答数合計	回収率
18-29 歳	447 件	42 件（42.4%）	57 件（57.6%）	99 件	22.1%
30 歳代	324 件	51 件（47.2%）	57 件（52.8%）	108 件	33.3%
40 歳代	466 件	95 件（53.7%）	82 件（46.3%）	177 件	38.0%
50 歳代	529 件	168 件（65.9%）	87 件（34.1%）	255 件	48.2%
60 歳代	363 件	138 件（73.4%）	50 件（26.6%）	188 件	51.8%
70 歳代	483 件	276 件（91.7%）	25 件（8.3%）	301 件	62.3%
80 歳以上	365 件	178 件（95.2%）	9 件（4.8%）	187 件	51.2%

# 市民調査結果（一部抜粋）（P.3～22）

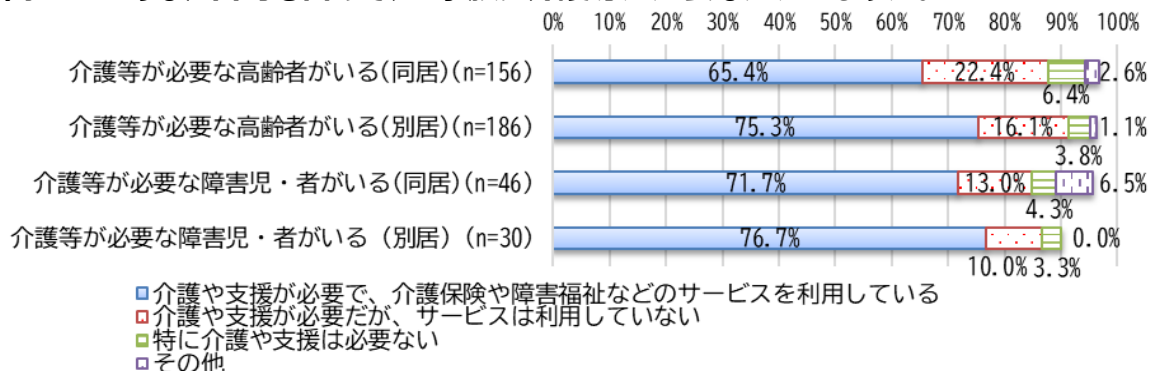
問21-4 あなたの世帯のタイプは次のうちどれに該当しますか。



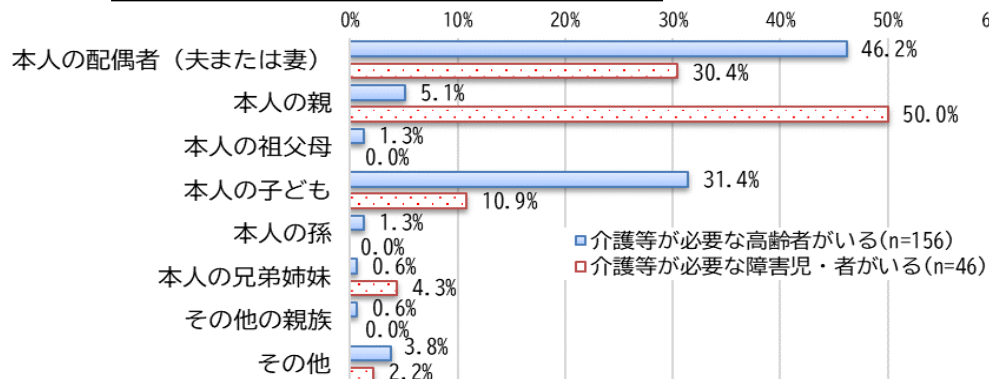
問21-5 同居されているご家族に、18歳未満の子どもや65歳以上の高齢者がいますか。



問21-6 あなた自身も含めて、ご家族に介護等が必要な方がいますか。

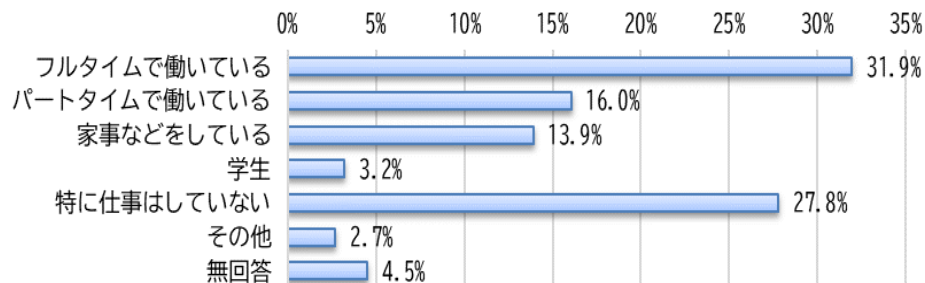


問21-8 介護等が必要な同居のご家族がいる場合、主に誰が介護を担っていますか。

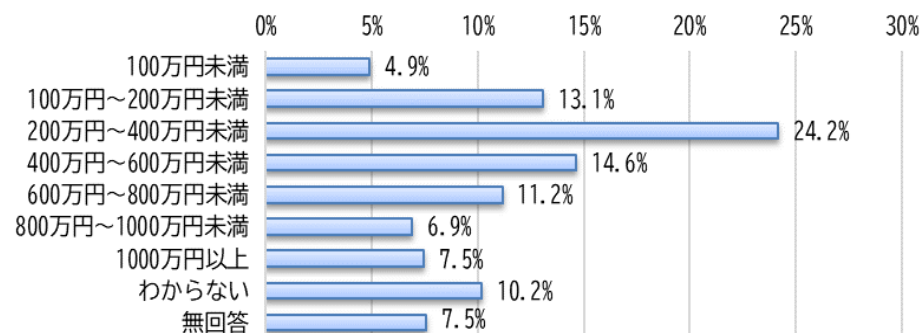


# 市民調査結果（一部抜粋）

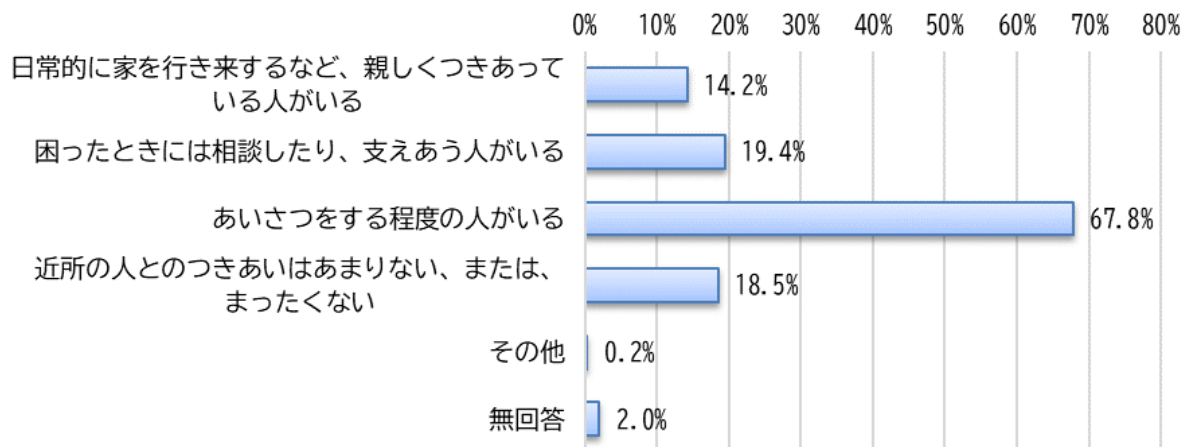
問21-9 あなたはお仕事に就いていますか。



問21-10 ご家族を含めて、あなたの世帯における昨年のおおよその年収を教えてください。

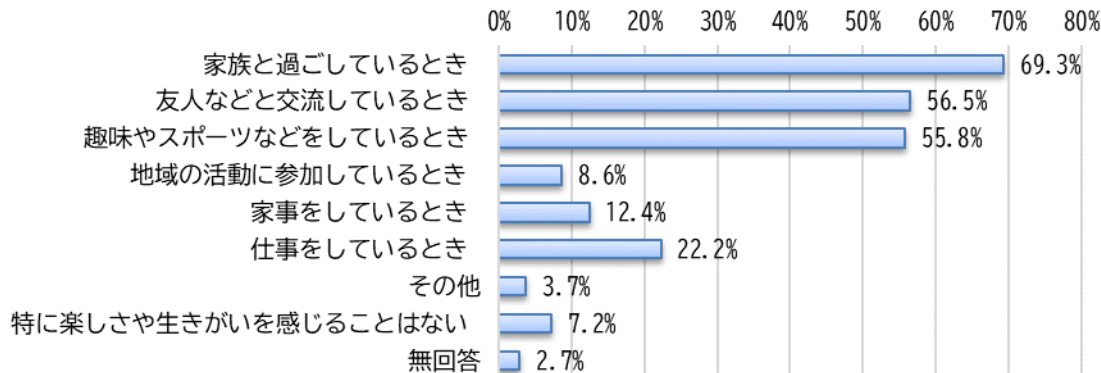


問21-12 あなたは、近所の人とどれくらいのおつきあいがありますか。（複数回答）

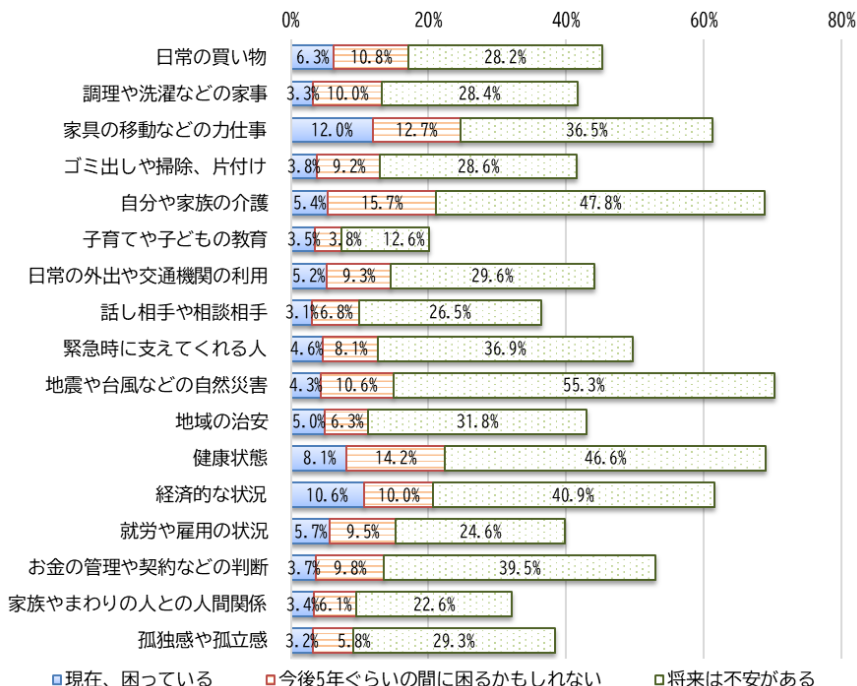


# 市民調査結果（一部抜粋）

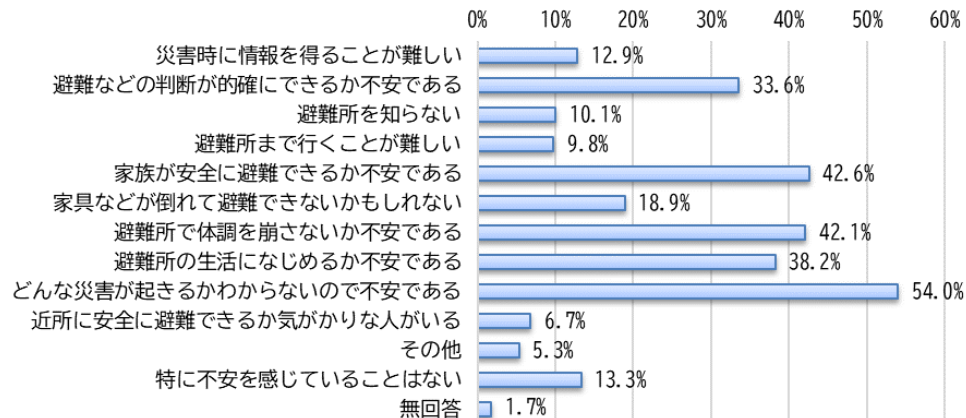
問1 あなたは日常生活のなかで、どのようなときに楽しさや生きがいを感じますか。（複数回答）



問2 あなたは日常生活に関する以下のことで、困っていることや不安に感じていることがありますか。（各項目について1つ回答）

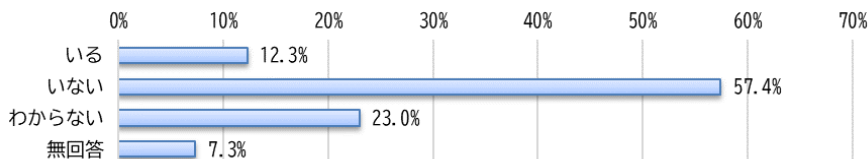


問4 地震や台風などの災害時の避難に関して、あてはまるものはありますか。（複数回答）

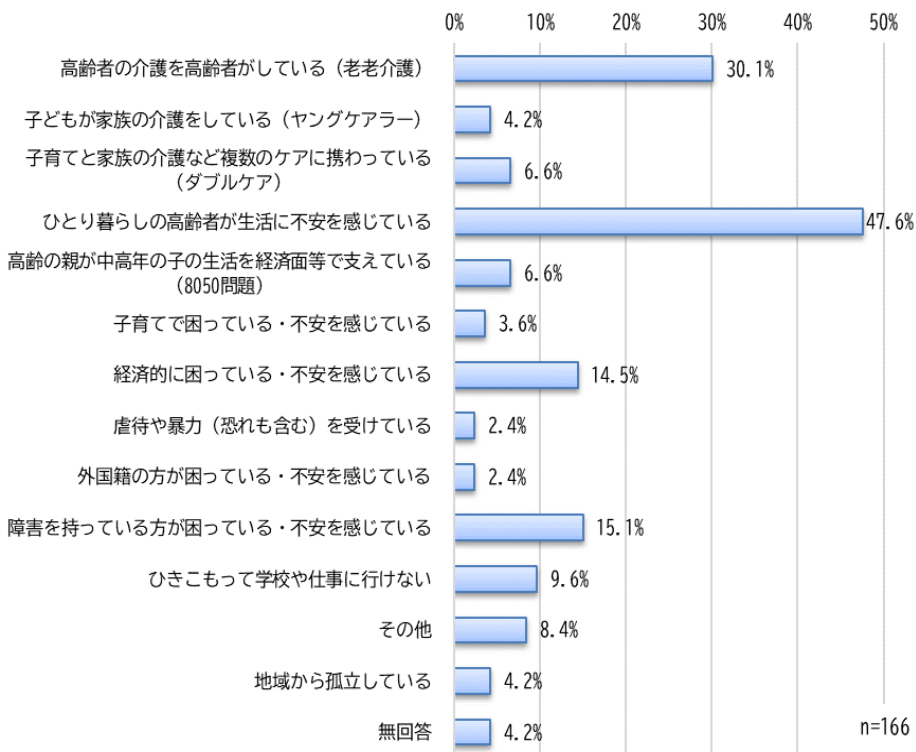


# 市民調査結果（一部抜粋）

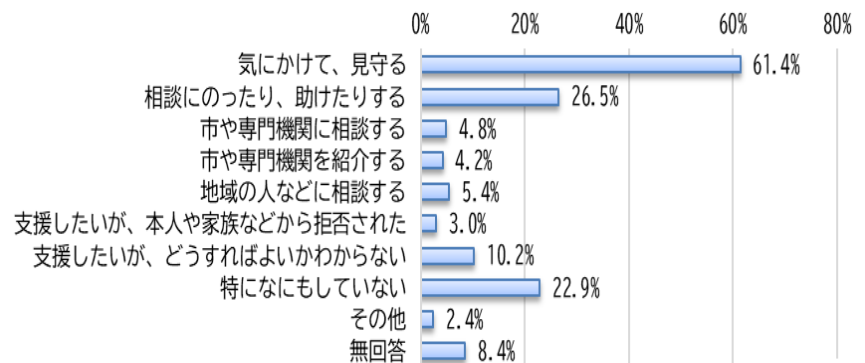
問5 あなたは、家族や親族以外で、地域で気がかりな人がいますか。



【家族や親族以外で、地域で気がかりな人が「いる」と答えた方（166人）】気がかりなのは、どのような方ですか。（複数回答）

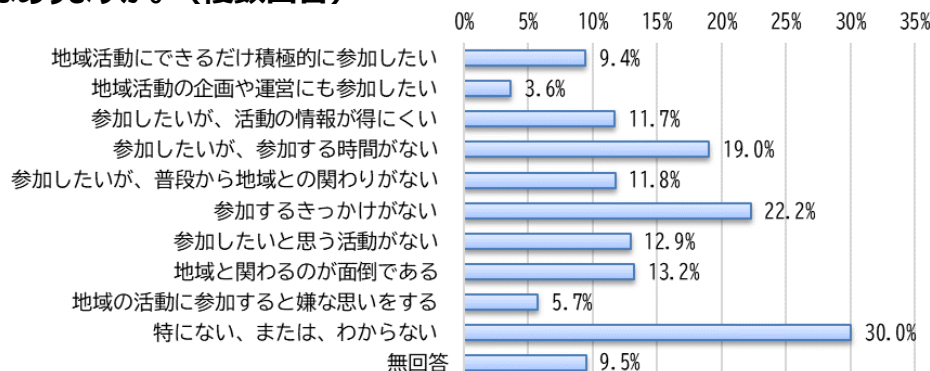


その人に対して、あなたはなにかしたことはありますか。（複数回答）

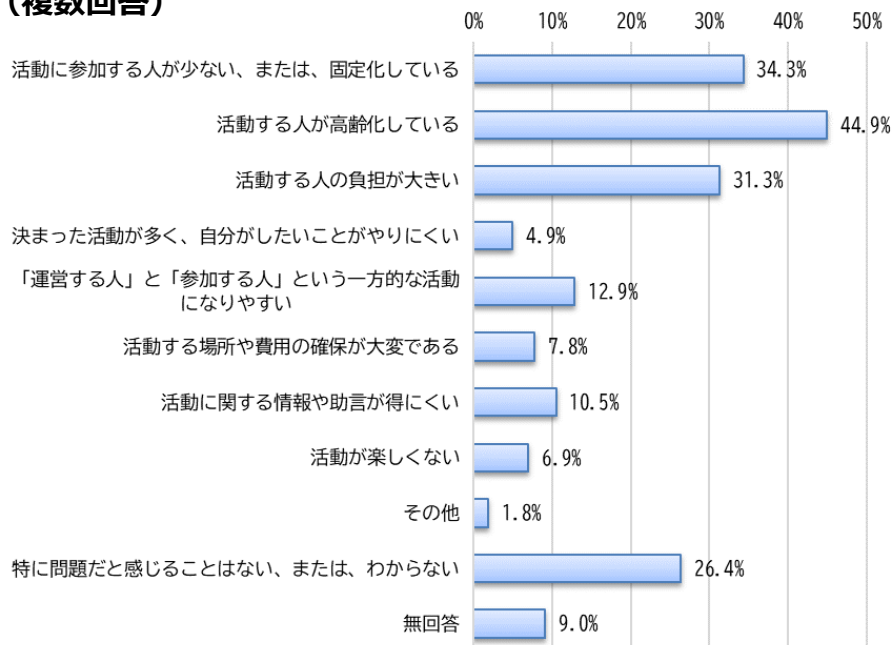


# 市民調査結果（一部抜粋）

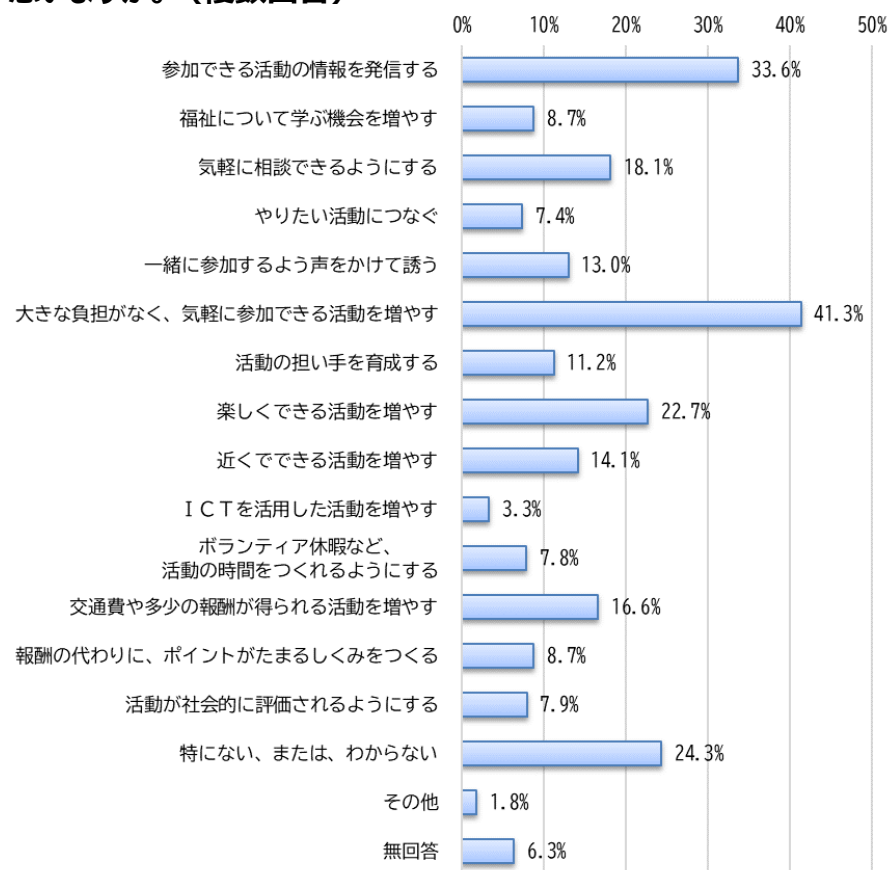
問9 あなたは、お住まいの地域の活動への参加について、あてはまることはありますか。（複数回答）



問10 市民による地域の活動について、課題だと思いませんか。（複数回答）



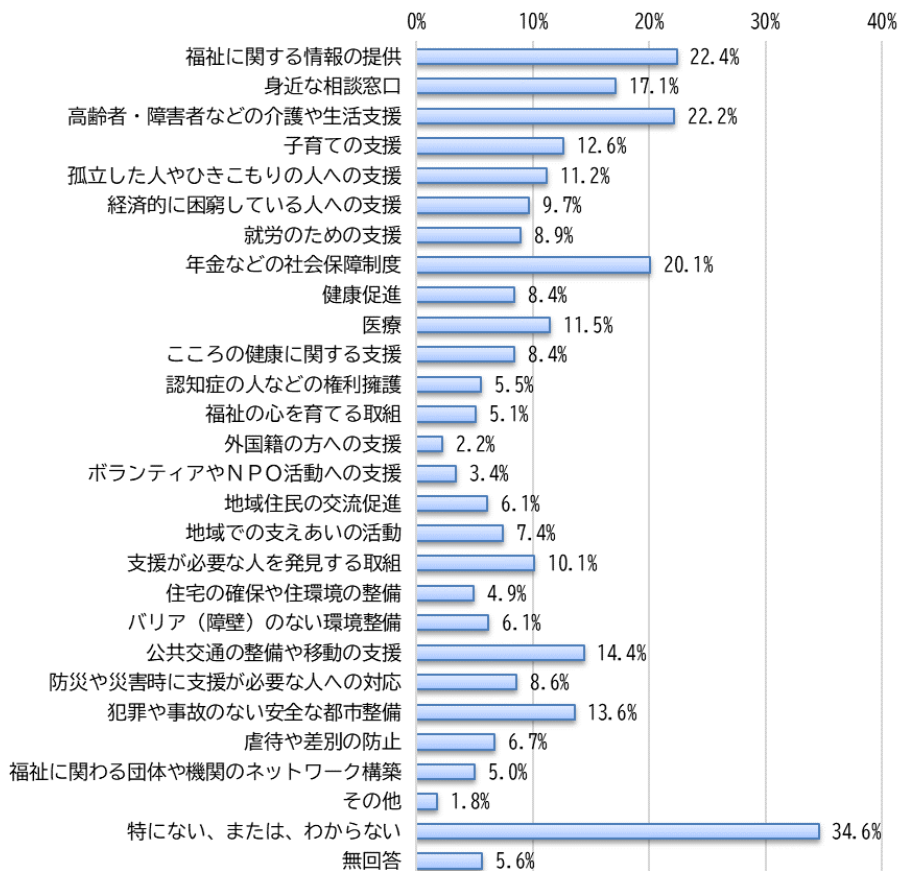
問11 あなたは、どのような取組を特に優先的に進めるのがよいと思いますか。（複数回答）



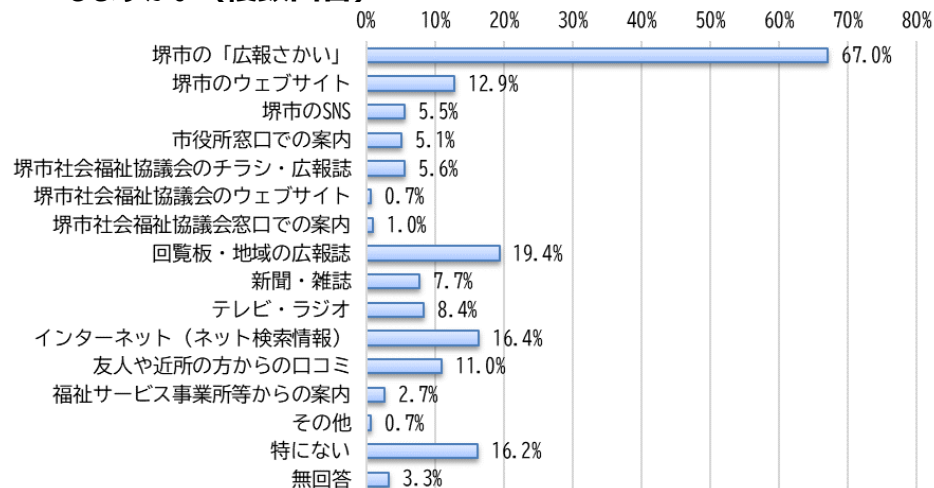


# 市民調査結果（一部抜粋）

## 問12 本市の福祉に関する環境について、不十分だと思うことはありますか。（複数回答）



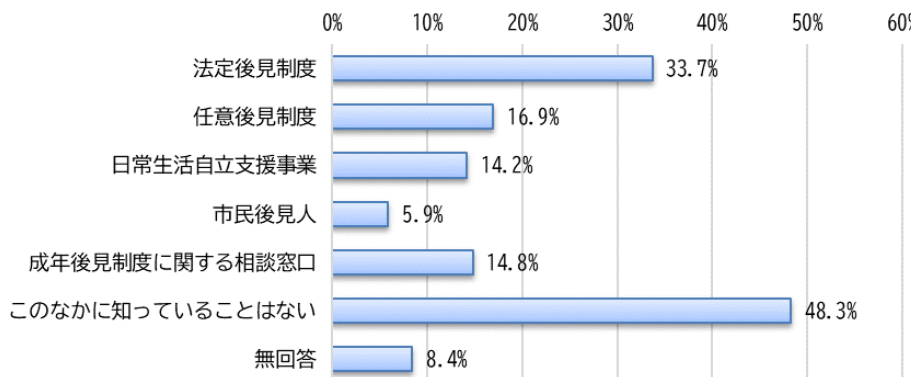
## 問14 あなたは、堺市の福祉に関する情報をどのような手段で入手しますか。（複数回答）



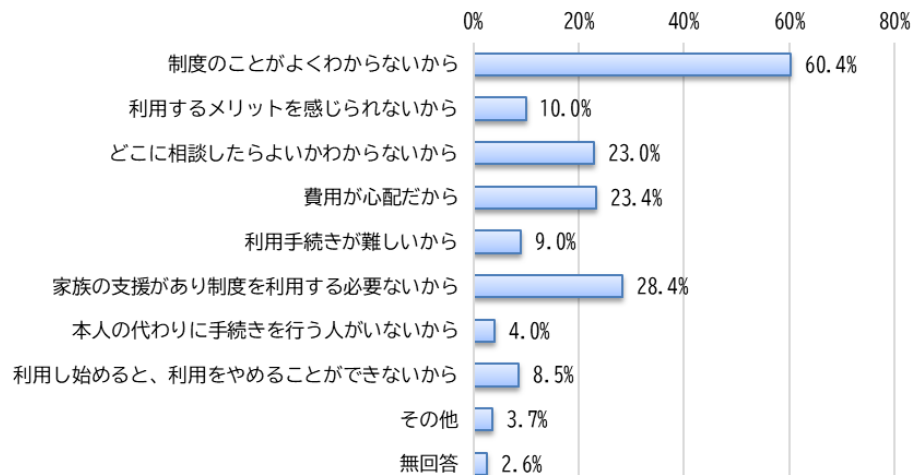


# 市民調査結果（一部抜粋）

問15 成年後見制度について、次のような制度内容や事業などについてご存知ですか。（複数回答）

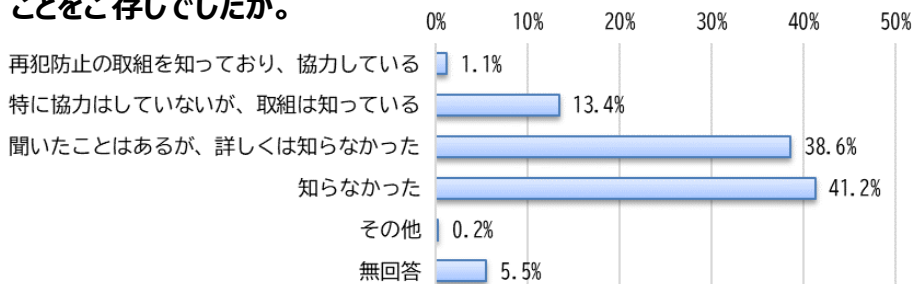


問16-2 「利用したいとは思わない」、「わからない」と回答した理由について、あてはまるものは次のどれですか。（複数回答）

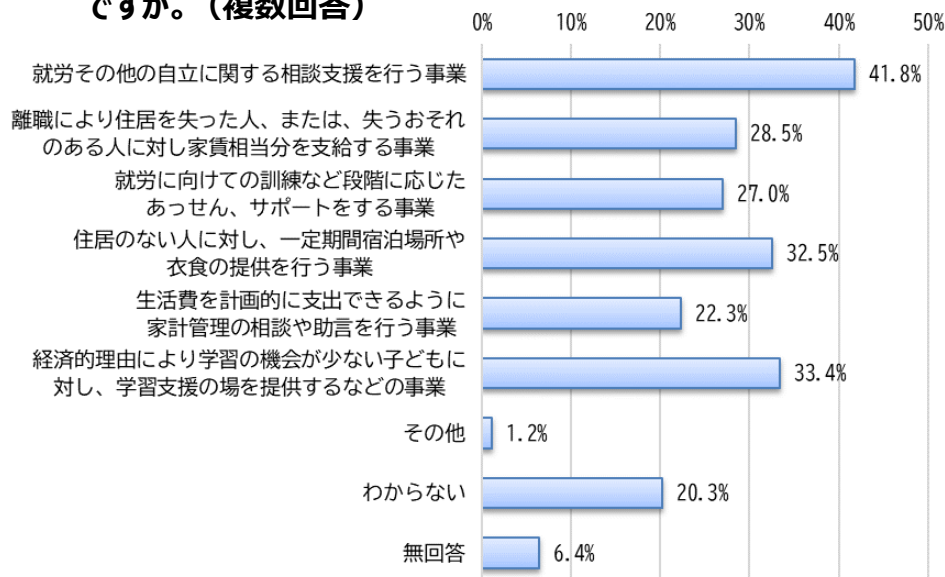


n=931

問17 あなたは、こうした（再犯防止の）取組が進められていることをご存じでしたか。



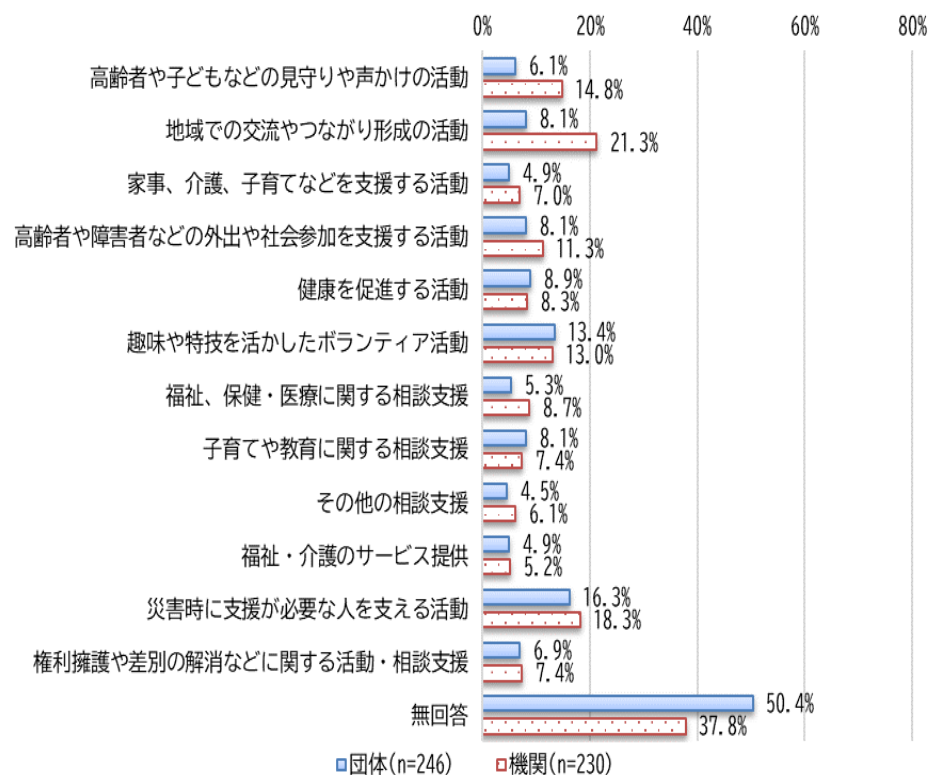
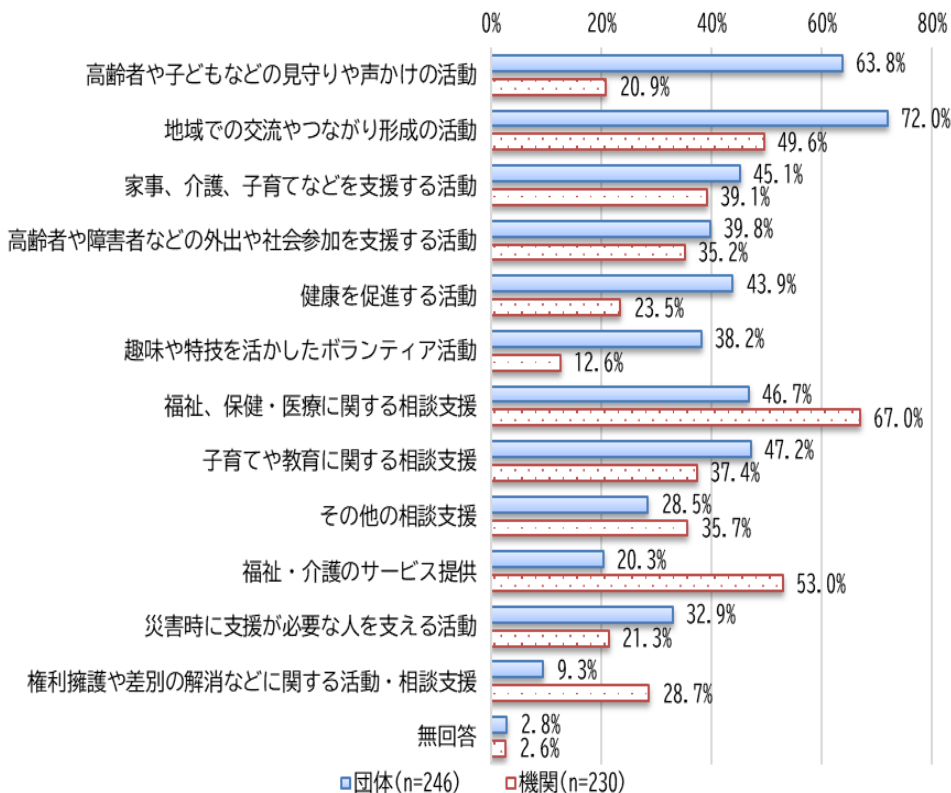
問20 あなたが何らかの理由で困窮し、現在の生活を維持することが困難になったとき、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。（複数回答）



# 団体・機関調査結果（一部抜粋） （P.23～49）

問3-1 貴団体・機関では、地域の福祉や保健・医療に関する次のような業務や活動を行っていますか。（複数回答）

左記のうち、新たに取り組みたい活動（5つまで）

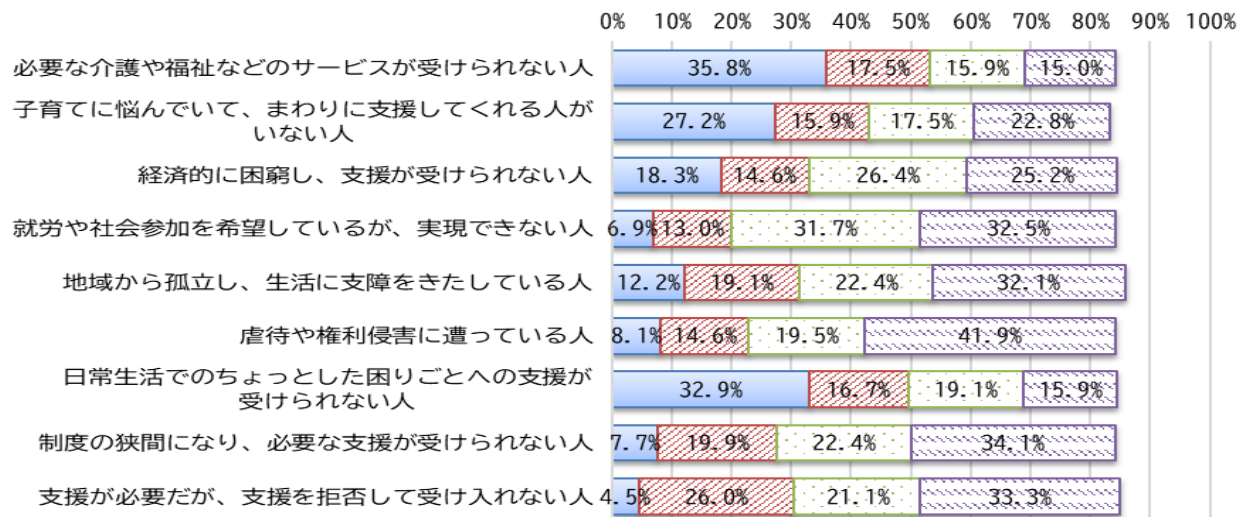


- ▶ 障害者、障害児、高齢分野の各事業所等、市域の行政機関・専門機関：「地域での交流やつながり形成の活動」
- ▶ 子ども分野の事業所等：「地域での交流やつながり形成の活動」と「高齢者や子どもなどの見守りや声かけの活動」
- ▶ 地域活動を実施するNPO等：「福祉・介護のサービス提供」
- ▶ 地域の福祉活動者、社会福祉法人：「災害時に支援が必要な人を支える活動」
- ▶ ボランティアサークル・地縁組織：「趣味や特技を活かしたボランティア活動」、「子育てや教育に関する相談支援」

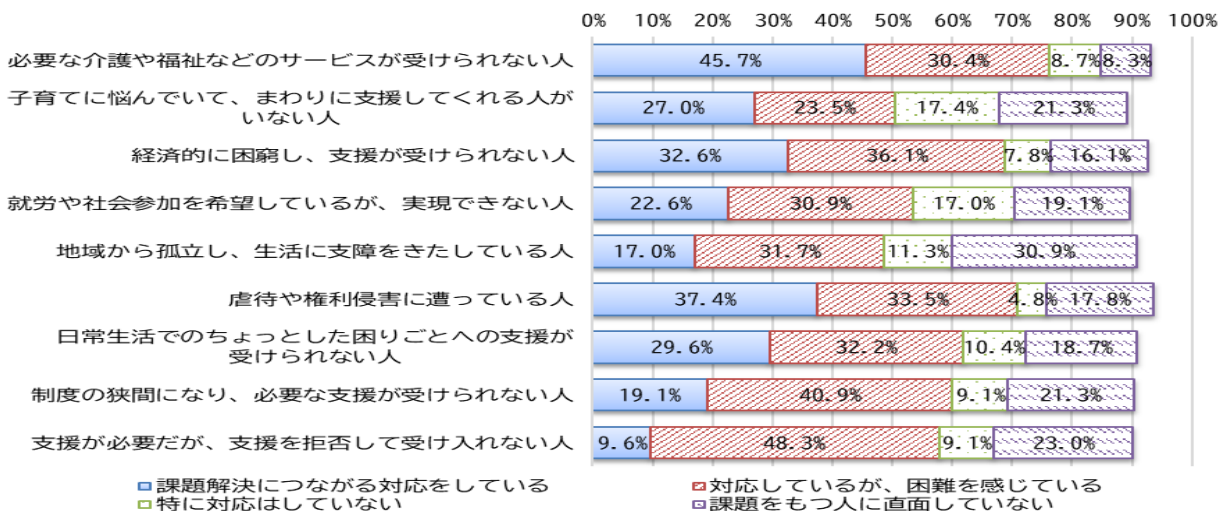
# 団体・機関調査結果（一部抜粋）

問4 貴団体・機関では、市民の日常生活に関する次のような課題を持つ人に対応した活動（相談や支援、予防のための取組など）をしていますか。（各項目について1つ回答）

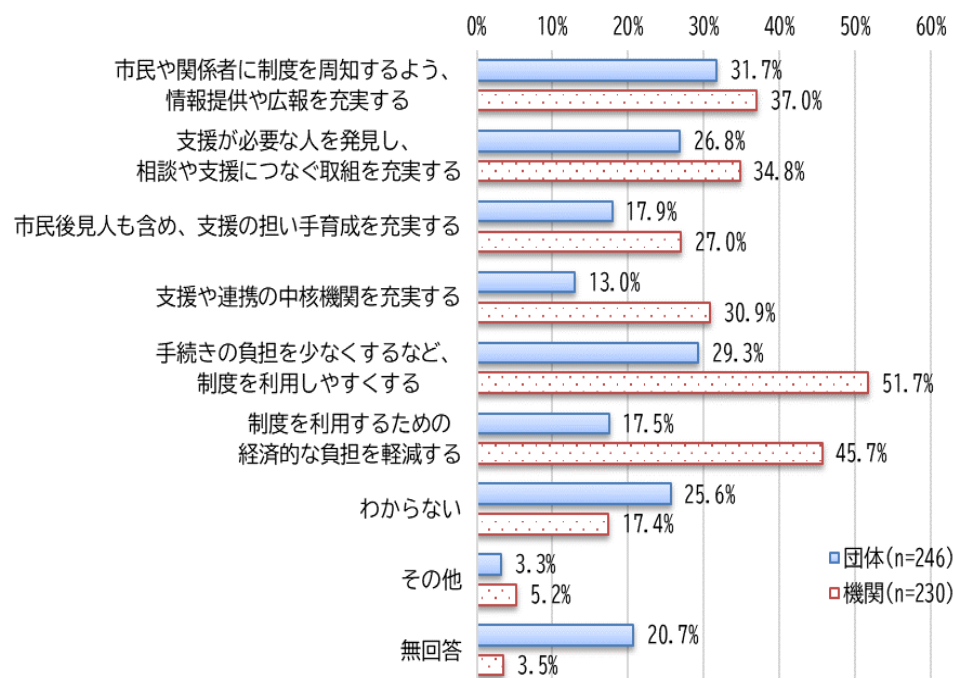
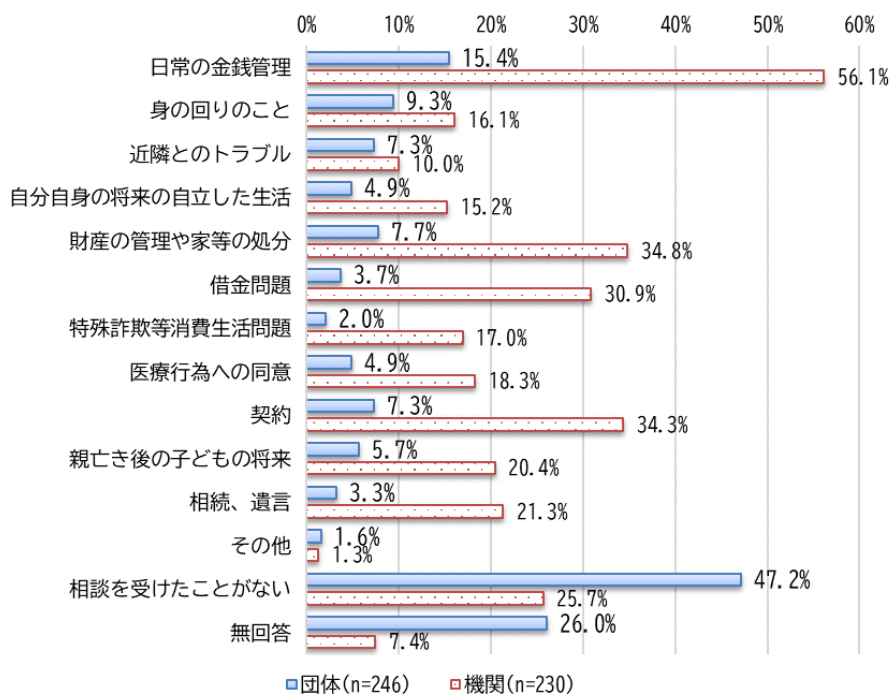
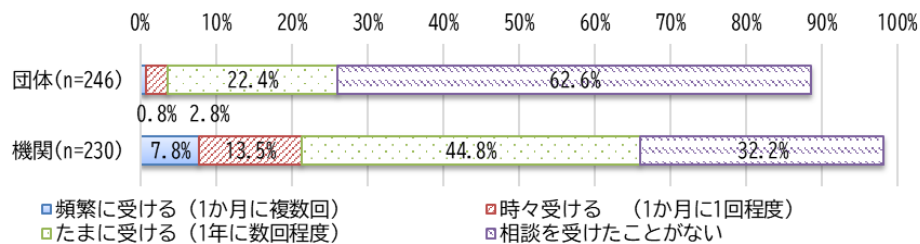
## 団体（n=246）



## 機関（n=230）



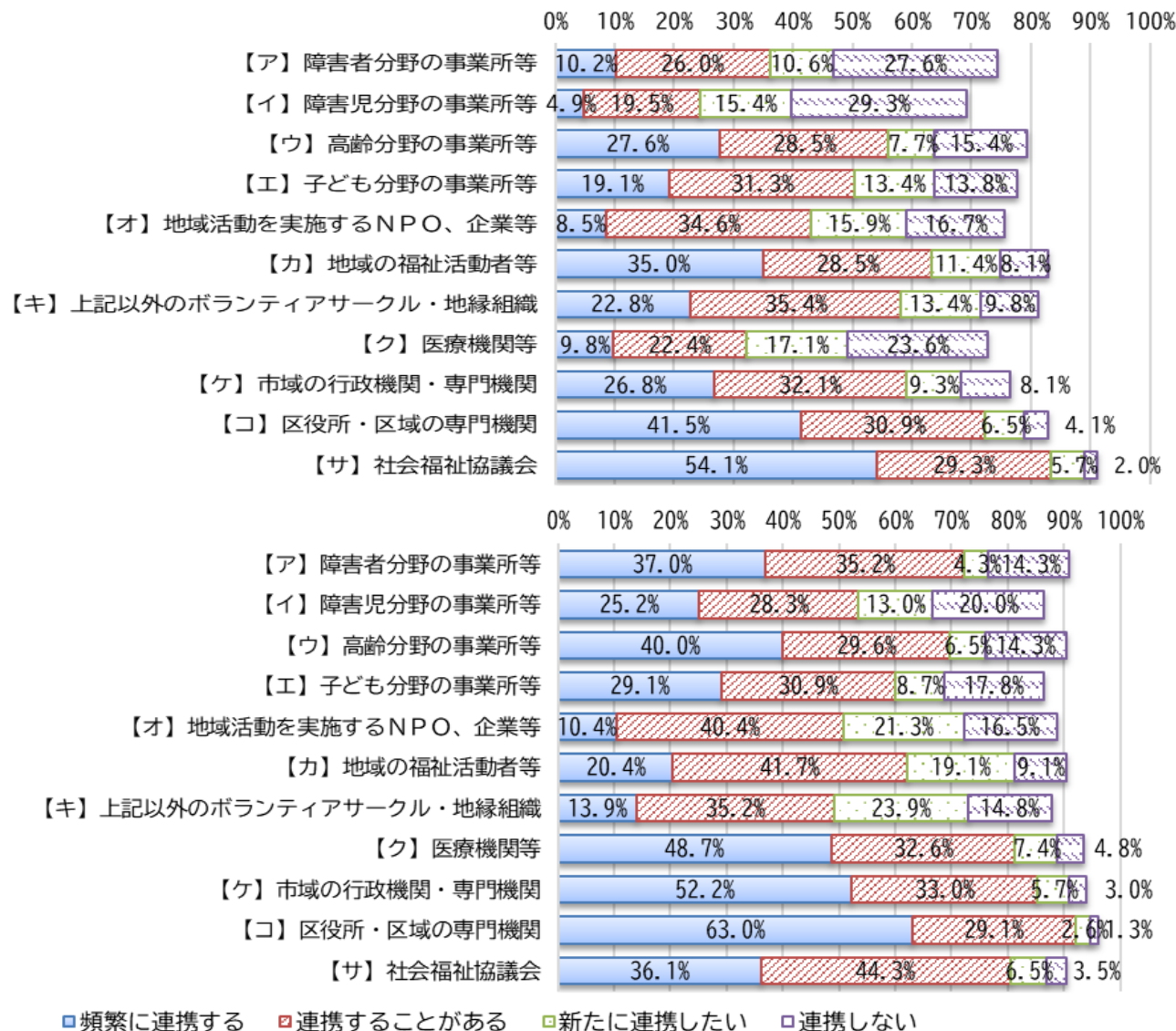
# 団体・機関調査結果（一部抜粋）





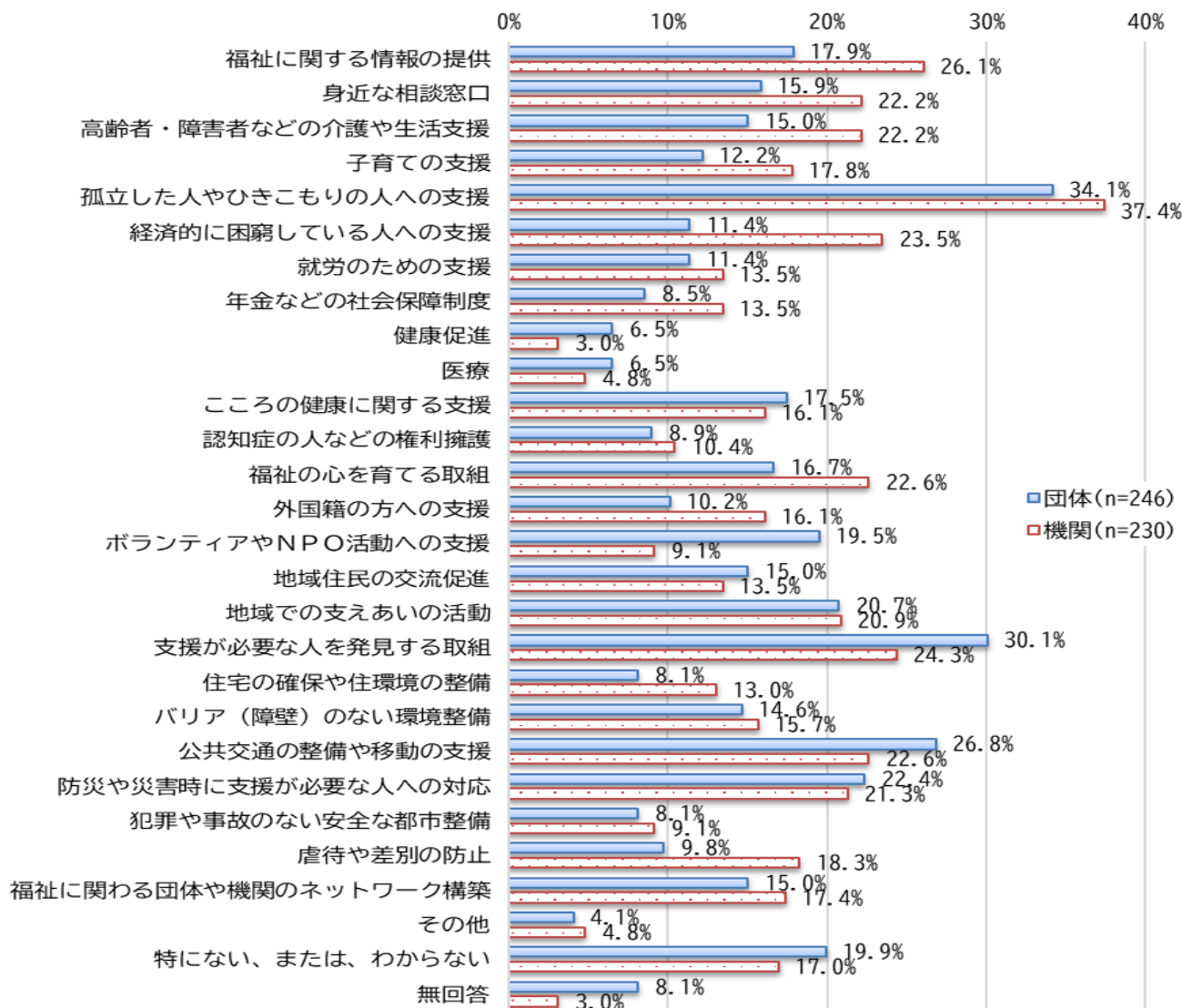
# 団体・機関調査結果（一部抜粋）

問11 市民の日常生活の課題を解決するための活動を行ううえで、貴団体・機関と【ア】～【サ】の事業所等との連携状況について回答してください。（各項目について1つ回答）



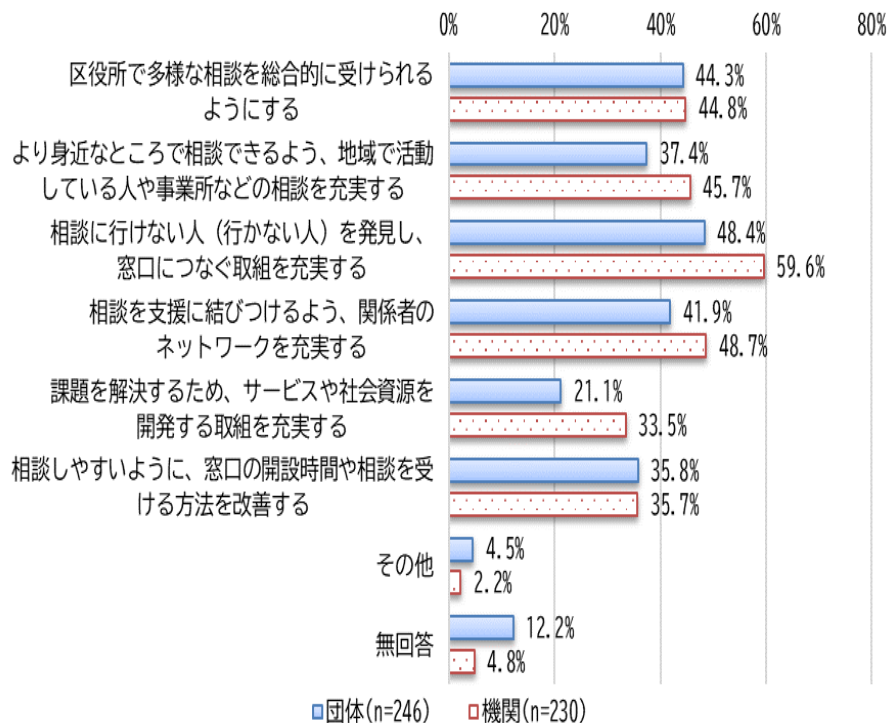
# 団体・機関調査結果（一部抜粋）

問12-1 本市の福祉に関する環境について、不十分だと思うことをお聞かせください。（複数回答）

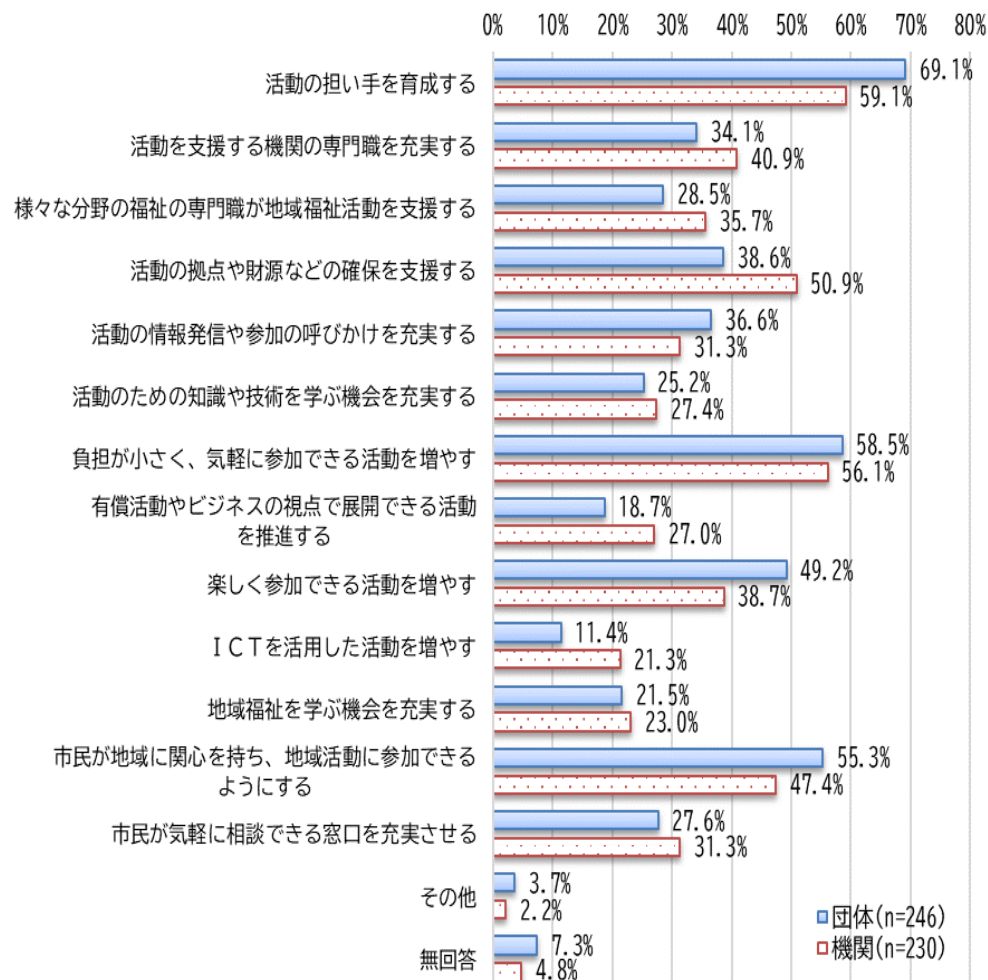


# 団体・機関調査結果（一部抜粋）

問13 「地域共生社会」では、多様な生活課題に制度等の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められますが、堺市でそうした包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことですか。（複数回答）



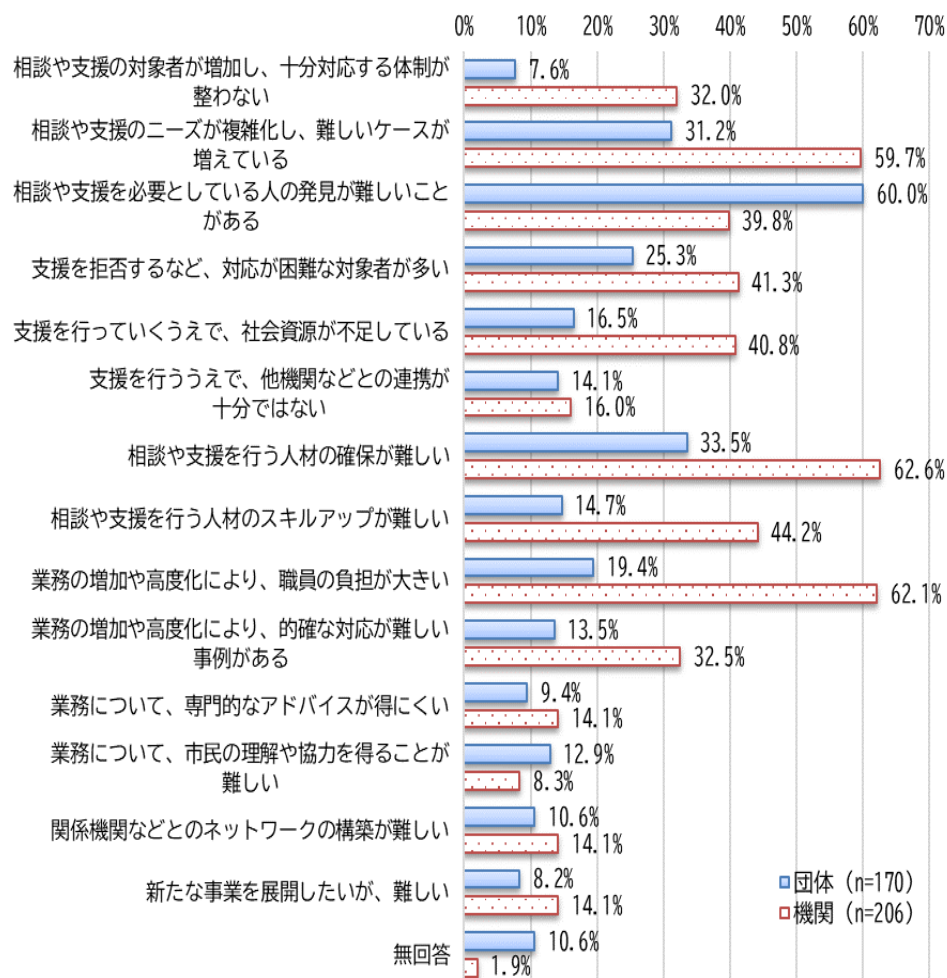
問16 市民による地域福祉活動を推進していくには、どのような取組を特に優先的に充実していくことが重要だと思いますか。（複数回答）



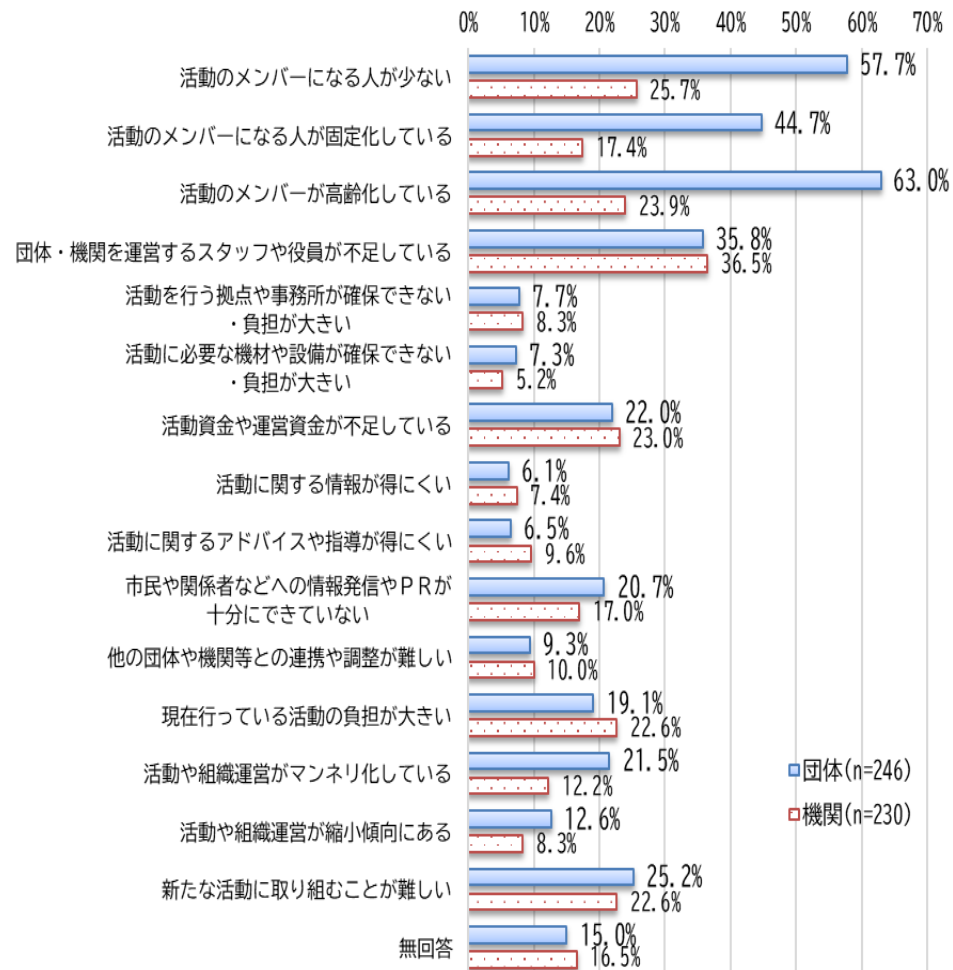


# 団体・機関調査結果（一部抜粋）

問17-2 貴団体・機関で相談・支援事業を実施するうえで、困っていることがありますか。（複数回答）

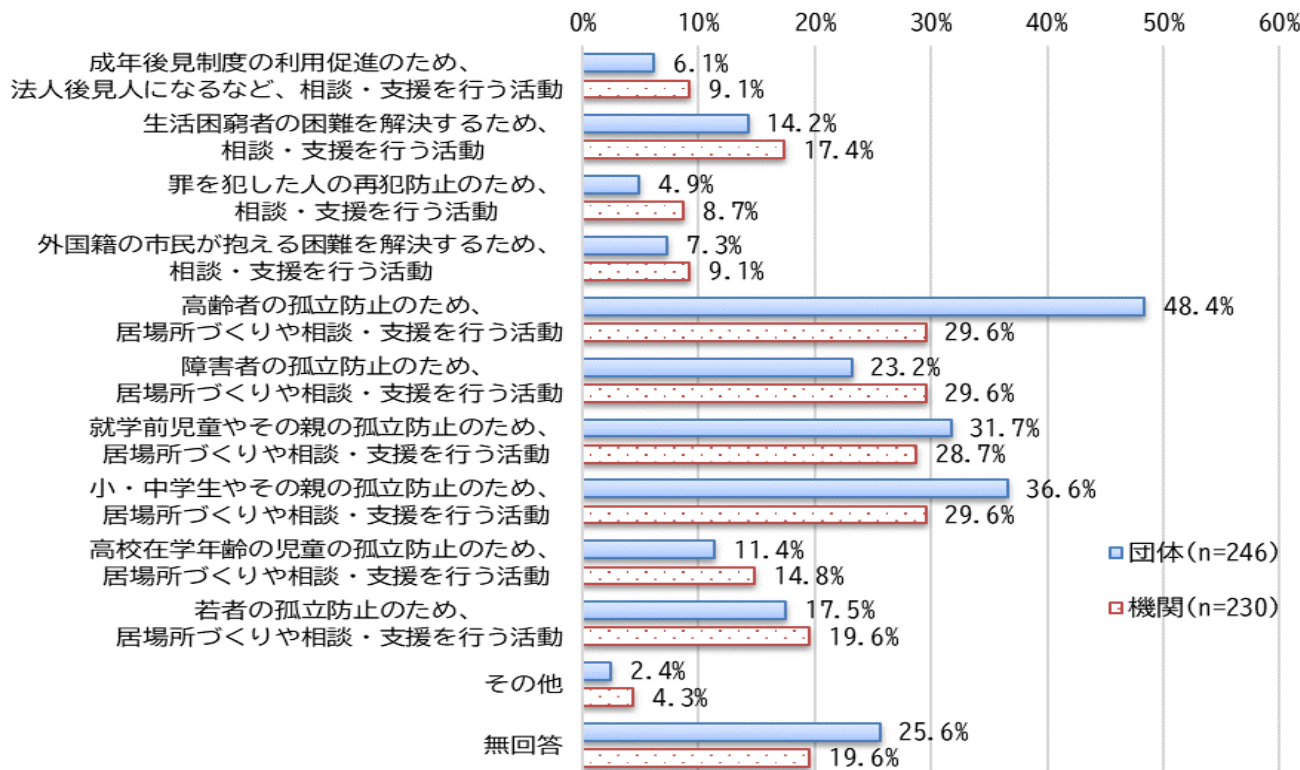


問18 貴団体・機関では、活動や組織運営を行ううえで、困っていることがありますか。（複数回答）



# 団体・機関調査結果（一部抜粋）

問19 貴団体・機関において、様々な地域福祉課題がある中で、これから取り組みを進めたいと考えている活動はありますか。（複数回答）



## 各区分で最多なもの

- ▶ 市域の行政機関・専門機関：「生活困窮者の困難を解決するため、相談・支援を行う活動」
- ▶ 高齢分野の事業所等、地域の福祉活動者等：「高齢者の孤立防止のため、居場所づくりや相談・支援を行う活動」
- ▶ 障害児分野の事業所等、地域活動を実施するNPO等：「障害者の孤立防止のため、居場所づくりや相談・支援を行う活動」
- ▶ 障害児分野の事業所等、子ども分野の事業所等：「就学前児童やその親の孤立防止のため、居場所づくりや相談・支援を行う活動」
- ▶ ボランティアサークル・地縁組織、区役所・区域の専門機関：「小・中学生やその親の孤立防止のため、居場所づくりや相談・支援を行う活動」
- ▶ 社会福祉法人：「障害者の孤立防止のため、居場所づくりや相談・支援を行う活動」、「就学前児童やその親の孤立防止のため、居場所づくりや相談・支援を行う活動」

# 先進事例調査（愛知県岡崎市）（P.50～53）



## ●岡崎市について

人口	383,141人 ※愛知県内3番目、中核市	高齢化率	24.59%
世帯数	170,248世帯	自治会加入率	約89%
面積	387.20km <sup>2</sup>	財政力指数	1.00（令和5（2023）年度）

## ●重層的支援体制整備事業について（令和3（2021）年度より実施）

- ・生活困窮、高齢者、障害者の窓口を1フロアに集約することで物理的・空間的な点からも連携しやすくする工夫をしている。
- ・多機関協働事業
  - （ア）市が直営で実施することにこだわり、現在は6名の相談支援包括化推進員を配置している。
  - （イ）生活困窮者自立支援制度の実績・取組を背景に重層的支援体制整備事業を展開している。
  - （ウ）居住支援と重層的支援体制整備事業との連携が進んでいる。



ふくし総合サポートフロア「ふくサポ」

## ・情報発信における工夫

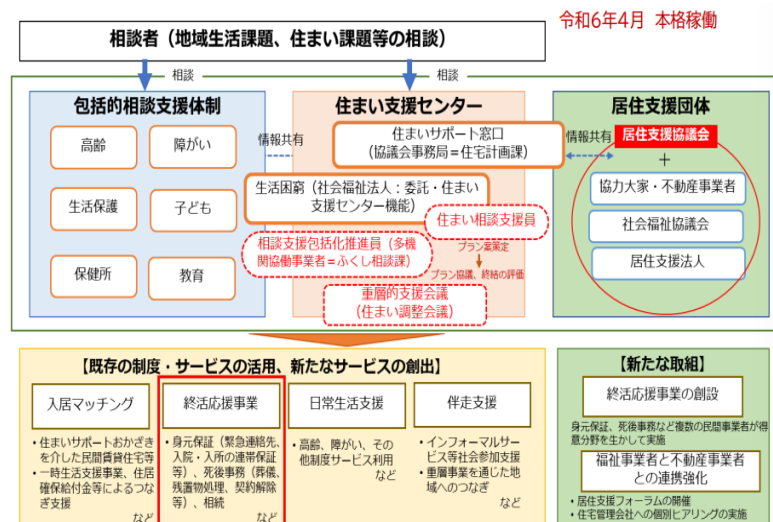
相談・支援・社会参加に関する情報を集約するプラットフォーム・ポータルサイトとしてのホームページを開設。

## ・孤独・孤立対策

孤独・孤立は、特定の属性の人だけのものではなく、誰にでも生じることであることから、ポッドキャストによる情報発信を実施している。

## ●居住支援について

- ・令和3（2021年）から「すまいサポートおかざき」をスタート。
- ・令和5（2023）年度は66件の相談に対応し、42件（63.6%）をマッチング。
- ・継続的かつ組織的に機能するように、令和6年に「住まい支援システム」を構築。
- ・住宅部門と福祉部門でそれぞれ窓口を設け、相談しやすい体制としている。
- ・包括的支援体制や居住支援団体との情報共有も図っている。
- ・住まい調整会議を社会福祉法上の支援会議と位置付けることで、個人情報取り扱いに留意している。
- ・相談者への提供メニューとしては、入居マッチング、終活応援事業、日常生活支援事業、伴走支援を用意している。



# 調査結果から見る次期計画での検討事項 (P.54～63)

## 相談・支援関係

- (1) 福祉サービスへのアクセスに係る的確な情報提供
- (2) 地域での気づきや見守りを活かし、アウトリーチによる支援につなぐ取組
- (3) 多様な主体の連携・協働による包括的な相談支援体制の充実

## 地域づくり関係

参加するきっかけ・参加しやすい活動の提供から、地域での支えあいの形成へ

## 権利擁護関係

成年後見制度についての情報発信・負担軽減

## 再犯防止関係

再犯防止の取組についての情報発信・連携の強化

## 生活困窮者自立支援制度関係

生活困窮者自立支援制度の情報発信・活用

## 災害対策関係

災害に関する情報発信・啓発、住民・団体機関・行政の連携